I·O DATA

M-MANU200289-01

ETG-SHV16N

セットアップガイド

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本紙では、本製品の基本的な機能説明をしています。

各部の名称と機能

▼前面



名称	機能
RESET スイッチ	細いピンなどで 15 秒以上押すと、本製品が初期設定に戻ります。
LAN ポート	LAN ケーブルをつなぎます。

名称	色	状態	意味
POWER	緑	点灯	電源 ON
	-	消灯	電源 OFF
1000M	緑	点灯	1000BASE-T でリンク
	緑	点滅	1000BASE-T で通信中
	-	消灯	1000BASE-T でリンクなし
10/100M	緑	点灯	100BASE-TX でリンク
	緑	点滅	100BASE-TX で通信中
	橙	点灯	10BASE-T でリンク
	橙	点滅	10BASE-T で通信中
	-	消灯	100BASE-TX/10BASE-T でリンクなし

注意 **●LEDが点灯しない場合**
《[POWER]が点灯しない場合》
→付属のACコードを取り付けてください。ACコードは必ず付属のものをご使用ください。ACコードを抜いた直後は、5秒以上待ってから取り付けてください。
《[1000M]、[10/100M]が点灯しない場合》
→パソコンの接続と電源が入っていることをご確認ください。

▼背面



名称	機能
電源コード差込口	添付の電源コードを差し込みます。

内容物の確認

ご使用の前に以下のものがそろっていることを □ にチェックをつけながらご確認ください。万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

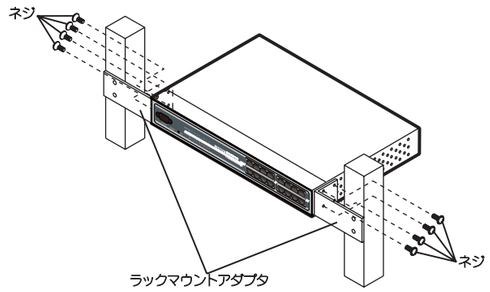
- □16 ポートギガビットスイッチングハブ [ETG-SHV16N]（1 台）
- □AC ケーブル（1 本）
- □ゴム足（4 個）
- □19 インチラックマウントアダプター（2 個）
- □ラックマウントアダプター取り付けネジ（6 個）
- □必ずお読みください（1 枚）
- □ハードウェア保証書（1 枚）
- ☑セットアップガイド（1 枚：本紙）

※箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

仕様

伝送規格	IEEE802.3(10Base-T) IEEE802.3u(100Base-TX) IEEE802.3ab（1000Base-T）
インターフェース	・LAN ポート RJ-45 ステーションポート × 16 ポート （全ポート Auto Negotiation、 Auto MDI/MDI-X 対応） ・シリアルコンソール　※サポート対象外 RS-232 コンソールポート × 1
スイッチ	リセットスイッチ × 1（設定初期化用）
アクセス速度	10 / 100 / 1000Mbps （10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T）
スイッチング方式	ストア＆フォワード
フローコントロール	Back Pressure（Half-duplex 時） IEEE802.3x（Full-duplex 時）
MAC アドレステーブル	8K エントリ
内部バッファ	272K バイト
ジャンボフレームサイズ	最大 9.6K(9600) バイト
適応規格	VCCI Class A
動作温度範囲	0 ～ 40℃
保存温度範囲	-5 ～ 60℃
動作湿度範囲	10 ～ 85%（結露無きこと）
保存湿度範囲	5 ～ 90%
電源	AC100V±10%，50/60Hz
消費電力	22W（最大）
外形寸法	約 330(W)×230(D)×44(H)mm（突起部は除く）
質量	約 2300g

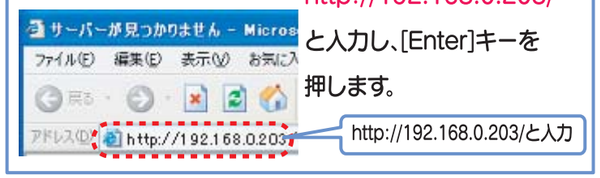
本製品を 19 インチラックに設置する場合は、本製品添付の 19 インチラックマウントアダプタとネジを利用して、下図のように取り付けてください。



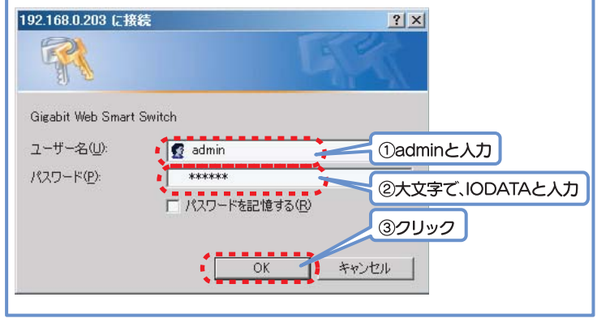
設定画面を開く

❶ Internet Explorer
パソコンの電源を入れ、インターネットエクスプローラを起動します。

❷ http://192.168.0.203/ と入力し、[Enter]キーを押します。



❸ ログイン画面が表示されますので、次のように入力して、[OK]ボタンをクリックします。
ユーザー名:admin
パスワード:IODATA
（大文字で、アイ オー ディ エー ティ エー）

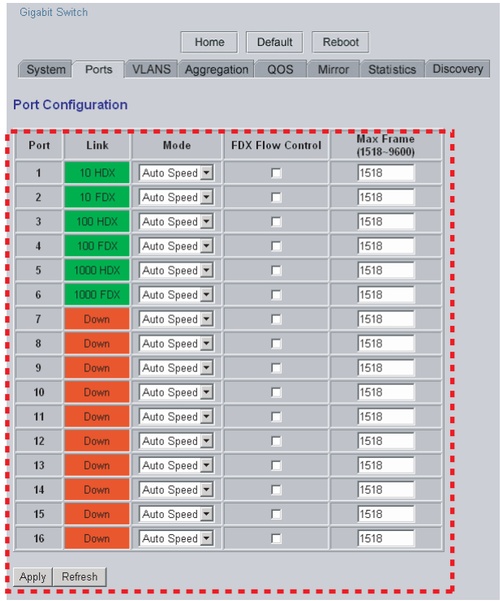


注意 **●設定画面が開かない場合**
→接続が正しいことをご確認ください。
→セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
→ETG-SHV16NのIPアドレスのセグメントと、設定用パソコンに設定しているIPアドレスのセグメントを合わせてください。
例:ETG-SHV16Nが「192.168.0.203/255.255.255.0」の場合
設定用のパソコンのIPアドレスは
「192.168.0.xxx/255.255.255.0」
(xxxは1～254で他の機器が使用していない番号)を設定します。
→Webブラウザ(Internet Explorer)の設定を確認してください。
●ダイヤルアップ設定になっていないか確認する
①[Internet Explorer]画面の[ツール]メニューの[インターネット オプション]をクリックします。
②[接続]タブをクリックし、[ダイヤルしない]をチェックします。
●プロキシサーバーの設定を行っていないか確認する
①[Internet Explorer]画面の[ツール]メニューの[インターネット オプション]をクリックします。
②[接続]タブをクリックし、[LANの設定]ボタンをクリックします。
③[LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックが入っている場合は外します。

設定画面について（抜粋）

▼[Ports]タブ

本製品の各ポートに関しての情報を表示します。
環境に合わせて設定を変更することができます。



名称	内容
Link	ポートの状態を表示します。 Down(赤) ポートは使用されていません。 10HDX(緑) 10Mbps 半二重でリンクしています。 10FDX(緑) 10Mbps 全二重でリンクしています。 100HDX(緑) 100Mbps 半二重でリンクしています。 100FDX(緑) 100Mbps 全二重でリンクしています。 1000FDX(緑) 1000Mbps 全二重でリンクしています。
Mode	モードを設定します。 Auto Speed オートネゴシエーションで接続します。 10 Half 10Mbps 半二重で接続します。 10 Full 10Mbps 全二重で接続します。 100 Half 100Mbps 半二重で接続します。 100 Full 100Mbps 全二重で接続します。 1000 Full 1000Mbps 全二重で接続します。 Disable 接続を無効にします。
FDX Flow Control	全二重通信時のフローコントロールを有効にします。
Max Frame	通信を行うときの最大フレームサイズを設定します。 デフォルト値は 1518 です。最大で 9600 まで設定できます。
Apply	設定を保存します。
Refresh	表示を更新します。

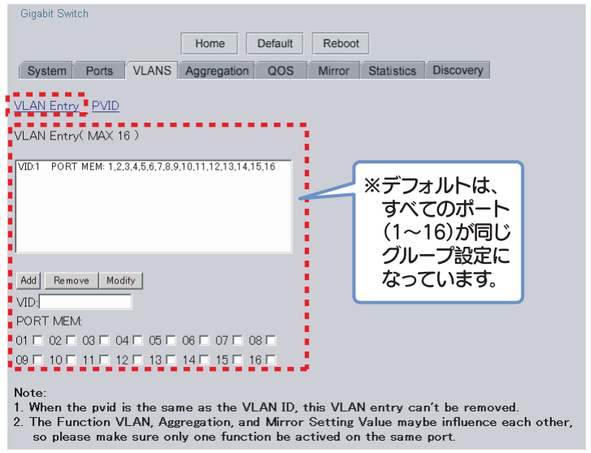
その他の機能やより詳しい情報は下記ホームページから取扱説明書（PDF ファイル）をダウンロードすることができますので、ご利用ください。

http://www.iodata.jp/lib/

設定画面について（抜粋）

▼[VLANS]タブ-[VLAN Entry]

[VLAN Entry] では、VLAN ID と送信ポートの関連付けを行います。設定された VLAN ID に該当したパケットはそこに登録されたポートへ送信します。



新しいVLANを作成する場合

1. 設定したいポートのチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。
2. VLAN IDをVIDに入力します。(1～4096)
3. [Add]をクリックしてエントリーに追加します。

VLANの設定を編集する場合

1. 編集したいエントリーを選択します。
2. ポートを編集します。
3. [Modify]をクリックして編集を終了します。

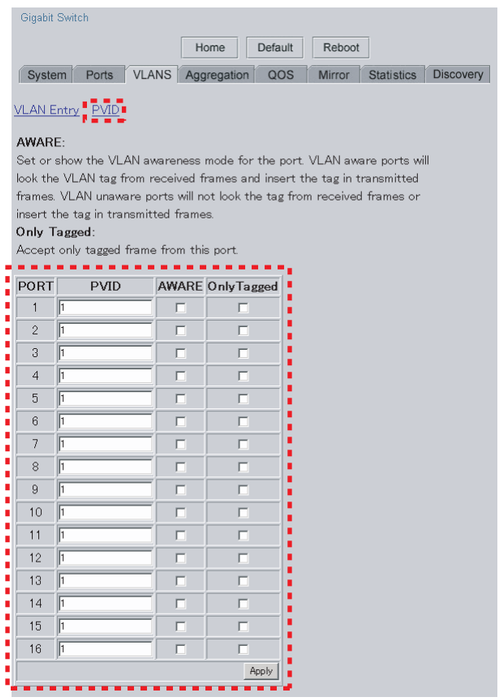
VLANの設定を削除する場合

1. 削除したいエントリーを選択します。
2. [Remove]をクリックしてエントリーを削除します。

注意
- ●デフォルト値VID：1を編集する場合は、PVIDの値を変更する必要があります。
- ●PVIDと同じ値のVLAN IDからは、ポートを削除しないでください。

▼[VLANS]タブ-[PVID]

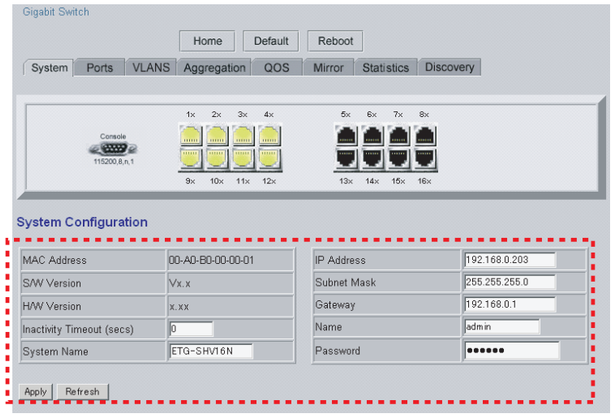
PVID では、ポート VLAN ID の設定を行います。
各ポートに設定した PVID（1 ～ 4096）をポートに設定された PVID を受信したパケットの VLAN ID として処理します。



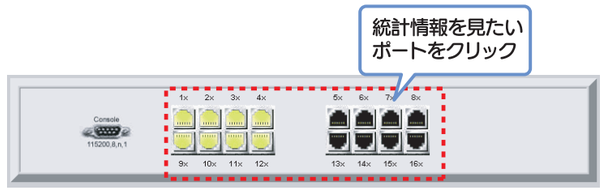
名称	内容
PVID	ポート VLAN ID（1 ～ 4096）を設定します。 受信したパケットのポートに設定された PVID を VLAN ID として処理します。
Apply	設定を保存します。

▼[System]タブ

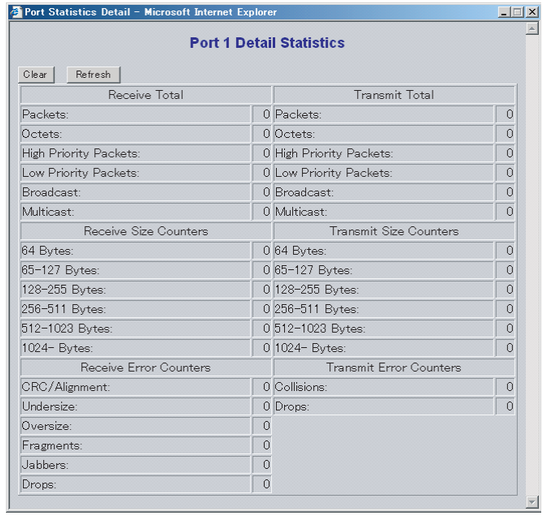
本製品のシステム情報を表示します。環境に合わせて設定を変更することができます。



名称	内容
MAC Address	MAC アドレスを表示します。
S/W Version	ソフトウェアのバージョンを表示します。
H/W Version	ハードウェアのバージョンを表示します。
Inactivity Timeout	コンソールポートの無通信タイムアウト時間を設定します。0 を設定するとタイムアウトしません。設定範囲は 60 ～ 1000 です。（デフォルト値：0）
System Name	本製品の名前を設定します。 （デフォルト値：ETG-SHV16N）
IP Address	本製品の IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	本製品のサブネットマスクを設定します。
Gateway	本製品のゲートウェイアドレスを設定します。
Name	ログイン名を設定します。（デフォルト値：admin）
Password	パスワードを設定します。（デフォルト値：IODATA）
Apply	設定を保存します。
Refresh	表示を更新します。

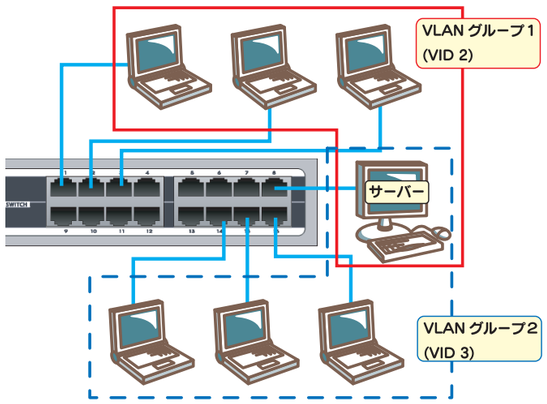


リンクされているポートは、緑色になります。
ポートをクリックすると、そのポートの詳細な統計情報を表示します。



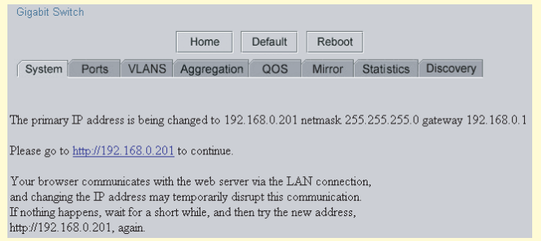
▼参考：設定例

ポート 1 ～ 8 を VLAN グループ 1（VID 2）とし、ポート 8 ～ 16 を VLAN グループ 2（VID 3）として、ポート 8 にサーバを接続してどちらの VLAN グループからもアクセスできるようにします。



1. VLAN Entryにて以下の設定を作成します。
   VID 1: Port 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16
   VID 2: Port 1,2,3,4,5,6,7,8
   VID 3: Port 8,9,10,11,12,13,14,15,16
2. PVIDにて以下のように設定します。
   Port1～7 のPVIDを 2に設定
   Port8 のPVIDを 1に設定
   Port9～16 のPVIDを 3に設定

注意 IPアドレスを変更すると、本製品は再起動します。
引き続き設定を行う場合は新しいIPアドレスでアクセスしてください。



その他の機能やより詳しい情報は下記ホームページから取扱説明書（PDF ファイル）をダウンロードすることができますので、ご利用ください。

http://www.iodata.jp/lib/

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2006.2.17発行

Copyright (C) 2006 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.